

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

肝切除後における持続性の急性腎障害についての検討

1. 対象となる患者さん

2008年1月1日～2023年12月31日の間に当院で肝切除術を施行された患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科 土井 駿介

3. 研究の目的と意義

急性腎障害 (Acute kidney injury, AKI) は肝切除術後の短期成績に関連すると報告されているが、長期成績については一定の見解がないのが現状です。近年、AKIが1週間以上続き積極的な介入が必要となる可能性が高いと予測されるAKIの新たな定義として、持続性の急性腎障害 (persistent AKI) という概念が打ち出され、徐々に定着してきています。persistent AKIは主に循環器疾患や救急疾患において、腎機能予後および生命予後に関わると報告されています。今回、肝切除後のpersistent AKIと術後短期成績および腎機能予後との関連を調査し、persistent AKIの予測因子を検討します。さらに、治癒切除を行なわれた初発肝細胞癌術後の患者さんを対象に、persistent AKIと予後との関連を検討します。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、肝切除後における急性腎障害と腎機能予後や生命予後との関連を検討します。

5. 使用する情報

①臨床所見(年齢, 性別, 疾患, 既往症, 腫瘍径, 腫瘍個数, 腫瘍部位, 手術術式, 出血量, 手術時間, 術後在院日数, 術後合併症, 組織型, 術式, 無再発生存期間, 全生存期間, 再発後生存期間)

②血液検査所見(肝機能検査:血清ビリルビン値, アルブミン値, AST(アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ)値, ALT(アラニンアミノトランスフェラーゼ)値, PT(プロトロンビン)%値, ICG(インドシアニングリン)15分値, リンパ球数, CK(クレアチンキナーゼ), 腎機能検査: BUN(尿素窒素), Cre(クレアチニン), eGFR(推定糸球体濾過量) 腫瘍マーカー: AFP, PIVKA-II)

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

2024年6月4日~2027年12月31日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科 土井 駿介

住所: 奈良県橿原市四条町 840 番地

電話: 0744-22-3051

e-mail: raoyue8@naramed-u.ac.jp